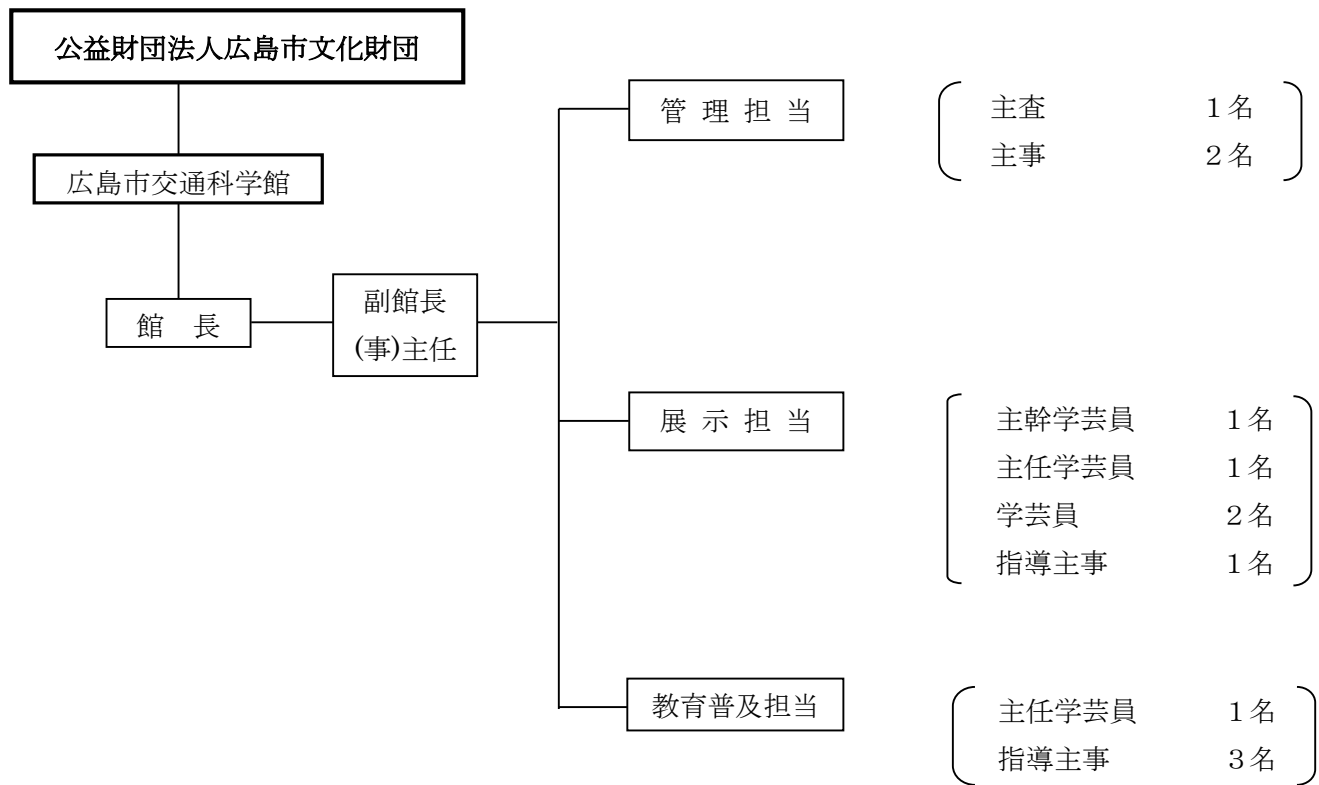


組織及び職員数

平成30年4月1日現在



計14名

平成30年度 広島市交通科学館 観覧利用者 集計表

月	施設 入場者	個人												合計	団体																	合計	(観 覧 合 計)	観 覧 以 外		
		有 料			無 料						割引券				一 般 団 体				幼稚園 ・保育園		市内小・ 中学校		市外小・ 中学校		高 校		その他減免		割引券							
		大人	小人	シニア	6才 以下	手帳・視察		その他減免		大人	小人	シニア	大人		小人	シニア	大人	小人	シニア	幼児	園児	引率	生徒	引率	生徒	引率	生徒	引率	大人	小人	大人				小人	シニア
						大人	小人	大人	小人																											
4月	18,025	1,543	12	164	1,265	248	8	0	768	344	3	19	4,374	0	0	0	0	101	17	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	121	4,495	13,530		
5月	19,587	1,834	8	183	1,346	235	2	0	683	322	0	33	4,646	0	0	0	0	276	40	402	18	0	10	0	0	50	6	0	0	0	802	5,448	14,139			
6月	13,087	1,237	4	95	976	191	15	0	507	223	0	21	3,269	0	0	0	0	354	41	0	0	0	2	0	0	53	3	5	0	1	459	3,728	9,359			
7月	14,311	1,482	13	165	1,115	232	11	0	753	232	3	14	4,020	0	0	0	0	0	12	4	0	0	0	0	0	51	3	0	0	0	70	4,090	10,221			
8月	26,119	3,070	31	411	2,114	397	30	0	1,566	486	15	43	8,163	0	0	0	0	25	8	0	0	0	0	0	0	56	14	3	0	0	106	8,269	17,850			
9月	23,707	1,843	3	154	1,394	237	5	0	1,342	253	0	22	5,253	0	0	0	0	422	42	127	18	0	57	0	0	36	7	6	0	0	715	5,968	17,739			
10月	27,010	1,139	5	105	959	256	2	0	1,447	262	1	23	4,199	0	0	0	18	216	18	702	54	0	79	0	0	93	11	0	0	0	1,191	5,390	21,620			
11月	30,220	1,143	2	120	1,432	218	2	502	900	240	2	16	4,577	0	0	0	1	93	15	1,562	80	0	23	0	0	53	3	0	0	0	1,830	6,407	23,813			
12月	14,480	1,009	3	119	897	155	0	0	454	173	4	18	2,832	0	0	0	0	90	11	320	26	0	11	0	0	7	0	5	0	0	470	3,302	11,178			
1月	20,406	1,484	5	142	1,239	230	3	0	508	229	0	11	3,851	0	0	0	0	42	8	154	27	0	0	0	0	21	1	0	0	0	253	4,104	16,302			
2月	22,072	1,324	13	150	2,238	222	3	747	1,073	202	4	19	5,995	0	0	0	2	474	42	81	8	0	12	0	0	20	5	0	0	0	644	6,639	15,433			
3月	29,253	2,643	1	262	2,239	284	10	0	1,201	466	1	36	7,143	0	0	0	8	255	49	10	5	0	2	0	0	15	0	8	0	0	352	7,495	21,758			
合計	258,277	19,751	100	2,070	17,214	2,905	91	1,249	11,202	3,432	33	275	58,322	0	0	0	29	2,348	291	3,370	240	0	196	0	0	458	53	27	0	1	7,013	65,335	192,942			

1. 展示事業

●平成30年度 展示事業 実績報告

I 常設展示

(1) 世界の乗り物

当館では、航空機・船舶・鉄道・自動車の各分野における技術の発達を伝える乗り物模型2,000点以上を所蔵しており、その一部を分野別に展示しています。またこれら乗り物にかかわる情報は、館内各所に設置されている端末装置「ハイパーブック」で調べることができるようになっています。

(2) ハイパーブック

乗り物の発達に関する物語や、それぞれの乗り物の特徴などの情報について、ビークル博士の案内で絵本を読むように楽しく、また百科事典をひもとくように詳しく調べることができます。

(3) シティランナー

正面の画面に現れる街（ビークルシティ）に入り込み、自転車で散策するように、また電車を運転するような感覚でその中を仮想移動体験できます。

(4) エポックシーン

ライト兄弟が初めて動力飛行した日の感動的なシーンやベンツの三輪車が走行する様子など、乗り物に関連した歴史的な4場面をミニジオラマでドラマティックに表現しています。カプセルの窓から中をのぞき込むような形で、各乗り物の名場面を見ることができます。

(5) ビークルシティ

日本最大級・直径20mの巨大な近未来交通パノラマ模型です。「空港」「オフィス」「文化・アミューズメント」「住居・学校」「シティリゾート」「生産・物流」の6つのエリアと、これらをむすぶ乗り物・交通のシステムを模型で構成しています。音楽や照明を使って、いきいきとした活気あふれるビークルシティの朝・昼・夜の一日を表現しており、人々の暮らしと乗り物が毎日の生活の中でどのように関わっているかを見ることができます。

(6) シティガイド

近未来巨大交通パノラマ「ビークルシティ」で使われている乗り物や交通の仕組みやシステムを、エリアごとに情報検索できる情報端末装置です。

(7) ビューカプセル

ビークルシティを見下ろすように設置された青・緑・赤・黄の4色の特殊映像カプセルで、青・緑色のカプセル内では、映像と音響によりビークルシティの中で繰り広げられるさまざまな物語をダイナミックなコンピュータ映像で体験できます。また赤・黄色のカプセルでは、ビークル博士のおもしろくてためになる乗り物のお話を視聴することができます。

II 企画展示など

(1) 夏季企画展「THE初代 ～身近なクルマのルーツたち～」

ア 期 間：平成30年7月21日(土)～9月2日(日) 44日間(うち開館日39日)

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：35,880人(入館者総数)

エ 展示内容

戦後、国産車の発展とともに各家庭に普及していったマイカーの歩みを紹介するため、戦後国産乗用車の初代モデルを中心に、実車やカタログ、映像、ミニカーのジオラマ等を展示しました。



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
「THE初代」開催記念スペシャルトークショー	1回	46人	1階 多目的ホール 2階 特別展示室他
初代クラウン乗車体験(1日2回)	12回	1,270人	2階 特別展示室
ギャラリートーク(1日2回)	6回	110人	2階 特別展示室他
「THE初代」スタンプラリーwithアストラムライン(7/21～8/19)		1,030人	企画展会場 アストラムライン長楽寺駅
ピカチュウがやってくる! inヌマジ交通ミュージアム	1回	159人	1階 エントランスホール
絵本の読み聞かせ会	1回	30人	1階 エントランスホール
こども交通ルール体験(1日2回)	4回	980人	1階 多目的ホール
こども安全免許証プレゼント(1日2回)	2回	111人	1階 多目的ホール

ドライバーズビジョン体験（1日2回）	2回	170人	1階 エントランスホール
ちびっこ教室「ラッピングマイカー」	1回	120人	1階 クラフトルーム
小学生工作教室	4回	164人	1階 クラフトルーム



(2) 秋季企画展「つながる かいてき 高速道路」

ア 期 間：平成30年10月12日(金)～12月2日(日) 52日間（うち開館日44日）

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：53,836人（入館者総数）

エ 展示内容

全国に伸びている高速道路。人と人、人と物を結びつけるのに欠かせない存在となっている高速道路について、その仕組みなどについて理解を深め、より身近なものとして感じてもらう展示会としました。



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場所
スタンプラリー（会期中の土・日・祝）	17回	2,439人	館内（1～3階）
道路管制センター見学会	1回	42人	NEXCO 西日本
広島高速5号線シールドトンネル工事現場見学会	1回	46人	広島高速5号線シールドトンネル工事現場
高速道路交通警察隊のパトロールカーと白バイとの記念撮影会（1日2回）	2回	711人	館正面・屋外広場側出入口付近
こども作業員なりきり体験（1日2回）	2回	989人	屋外広場側出入口付近
ちびっこ運転体験とVRゴーグル体験（1日2回）	2回	497人	1階 多目的ホール
子ども安全免許証プレゼント（1日2回）	2回	187人	1階 多目的ホール
ドライバーズビジョン（視機能診断機）体験（1日2回）	2回	163人	1階 エントランスホール
ギャラリートーク	6回	84人	2階 特別展示室など
おはなし会	2回	103人	1階 エントランスホール
乗り物教室「みんなで交通安全～白バイといっしょ～」（1日2回）	2回	96人	1階 多目的ホール
ちびっこ教室	2回	418人	1階 クラフトルーム
ピークルシアター	4回	533人	1階 多目的ホール



(3) 春季企画展「ケンキワールド はたらくのりもの—建設機械—」（31年度への継続事業）

ア 期 間：平成31年3月8日(金)～5月6日(月休) 60日間（うち開館日52日）
 ※平成30年度内は24日間（うち開館日20日）

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール他

ウ 観覧者数：27,132人（入館者総数／平成30年度内）

エ 展示内容

世界中の様々な現場ではたらく建設機械＝ケンキ。小さな子どもたちも大好きな実物のケンキやその部品・精密模型を展示し、用途や仕組みをパネルや映像で紹介しました。



オ 関連イベント（30年度内）

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
ケンキ教室『「てんびんとてこ」コベルコ建機のショベルカーをみてみよう!』	1回	25人	1階 多目的ホール
コベルコ建機(株)五日市工場見学会	1回	51人	コベルコ建機(株)五日市工場
ケンキが活躍する絵本のお話会	1回	72人	1階 多目的ホール
ケンキ試乗・撮影会（コベルコSK135SR／1日2回）	2回	421人	1階 正面玄関南側
ケンキ試乗・撮影会（コマツPC-01Aカーブ優勝記念モデル／1日2回）	2回	696人	1階 エントランスホール
ミニケンキ試乗・撮影会（コベルコSK008）	9回	4,254人	2階 特別展示室
子ども安全免許証プレゼント(1日2回)	2回	208人	1階 エントランスホール

ギャラリートーク	3回	105人	2階 特別展示室等
ちびっこ教室「クラフトブルドーザー」	1回	140人	1階 クラフトルーム
ビークルランド	2回	549人	1階 多目的ホール



(4) ビークルギャラリー

① 「みて！して！！新幹線パーツこれくしょん」（29年度からの継続事業）

ア 期 間：平成30年3月21日(水・祝)～5月20日(日) 61日間（うち開館日50日）
 ※平成30年度内は50日間（うち開館日41日）

イ 開催場所：2階 特別展示室、1階 エントランスホール

ウ 観覧者数：43,982人（入館者総数）※平成30年度内は34,112人

エ 展示内容

当館が所蔵する新幹線車両の実物部品を展示し、新幹線の仕組みと車両の変遷の一端に触れてもらうことで、来館者に乗り物と交通への理解と関心を深めていただきました。



オ 関連イベント（30年度内）

事業名・内容等	回数	参加人数	場所
ギャラリートーク（1日2回）	4回	111人	2階 特別展示室

② 「ちょっと懐かしい20年前の自動車カタログコレクション」

ア 期間：平成30年6月8日(金)～7月16日(月・祝) 39日間（うち開館日34日）

イ 開催場所：2階特別展示室

ウ 観覧者数：5,286人（有料エリア入場者数）

エ 展示内容

当館所蔵の自動車カタログの中から、1998年頃に発行されたもの248点をメーカーごとに展示し、カタログのデザインや車名等から20年間における自動車業界の変化を感じ取っていただきました。



③ 「第60回消防写生大会特賞入賞作品展」

ア 期間：平成30年7月4日(水)～7月16日(月・祝) 13日間（うち開館日12日）

イ 開催場所：1階 エントランスホール

ウ 共 催：広島市消防局

エ 入館者数：6,562人

オ 展示内容

5月20日に実施された第60回消防写生大会の特賞入賞作品77点を展示し、消防及び防火防災についての理解や興味・関心を深めていただきました。



④ 「安佐南区内公共施設防災ネットワーク事業・パネル展示」

ア 期 間：平成30年8月23日(木)～8月29日(水) 7日間（うち開館日6日）

イ 開催場所：1階 ガイダンスコーナー外縁

ウ 共 催：安佐南区地域起こし推進課

エ 観覧者数：1,399人

オ 展示内容

安佐南区役所が実施する「安佐南区内公共施設防災ネットワーク事業」に協力し、土砂・豪雨災害の様子や防災に関する情報をパネルで紹介し、あわせて防災用品を展示することで地域防災力の向上及び区民の防災・減災意識の高揚を図りました。



⑤ 「開通20周年記念 広島高速道路フォトコンテスト入賞作品展」

ア 期 間：平成30年9月13日(木)～10月8日(月・祝) 26日間（うち開館日23日）

イ 開催場所：1階 エントランスホール

ウ 共 催：広島高速道路公社

エ 観覧者数：5,845人

オ 展示内容

広島高速道路公社が開通20周年記念事業として前年度に実施したフォトコンテストの入賞作品を展示し、来館者の高速道路への興味・関心を高めるとともに、秋季企画展「つながる かいてき 高速道路」の周知につなげました。



⑥ 「アストラムライン新型車両情報」

ア 期 間：平成30年10月14日(日)～12月2日(日) 50日間（うち開館日42日）

イ 開催場所：1階 エントランスホール

ウ 観覧者数：12,162人

エ 展示内容

平成31年度末に導入予定のアストラムライン新型車両の外観・内装デザインや現行車両との違いをパネルで紹介するとともに、新型車両に使用されるものと同型のシートの実物を展示し、アストラムラインについての市民の関心を高めました。



⑦ 「南極写真パネル展－はれのちペンギン、ところによりブリザード」

ア 期 間：平成31年1月4日(金)～1月14日(月祝) 11日間（うち開館日10日）

イ 開催場所：1階 エントランスホール

ウ 観覧者数：3,206人

エ 展示内容

南極観測隊員の昭和基地での日常を撮影した写真展です。



⑧ 「全国アニマル駅長大集合！！」

ア 期 間：平成31年1月17日(木)～2月11日(月祝) 26日間（うち開館日23日）

イ 開催場所：2階 特別展示室

ウ 観覧者数：5,279人（有料エリア入場者数）

エ 展示内容

全国各地の鉄道駅で駅長や駅員として活躍し、鉄道の人気を高めるとともに地域起こしにも貢献している動物たちを、写真と解説文を交えた展示パネル55点、関連グッズ90点、映像2点で紹介し、観覧者に鉄道の魅力に触れていただきました。



Ⅲ その他（一部企画展関連事業と重複）

（１） 被爆電車車内公開

ア 時 期：毎月第3土曜日他（1日2回）
計31回
※9月15日午前は雨天のため中止

イ 開催場所：屋外広場

ウ 参加者数：2,668人

エ 実施内容



被爆しながらも戦後も長く活躍した広島電鉄650形路面電車(654号)の車内を一般公開しました。

（２） 日本自動車連盟（JAF）広島支部との連携事業

① ドライバーズビジョン（視機能診断機）体験

ア 時 期：4・8・10・12・2月の土曜
（1日2回）計10回

イ 開催場所：1階 エントランスホール

ウ 参加者数：1,242人

エ 実施内容



日本自動車連盟広島支部が所有する機器を使用し、自動車の安全運転に必要な「速度予測と判断力」、
「視野の広さと反応」の2つの能力について、自分の能力がどの程度か楽しみながら診断しました。

② 子ども安全免許証プレゼント

ア 時 期：5・6・7・9・11・1・3月の
土曜または日曜（1日2回）計14回

イ 開催場所：1階 多目的ホール
（3月のみエントランスホール）

ウ 参加者数：1,044人



エ 実施内容

日本自動車連盟広島支部が所有する機器を使用し、交通安全に関するクイズに答えた子どもに、顔写真入りのカード（子ども安全免許証）をプレゼントしました。

2. 教育普及事業

●平成30年度 教育普及事業 実績報告

交通科学館では開館以来、私たちの生活の身近にある乗り物や交通に対する興味・関心を喚起するために工作教室をはじめ講演会や映画会など数多くの事業を実施してきました。平成30年度も引き続き大人から子どもまで楽しみながら知識を身に着ける事ができる各種の事業を実施しました。

(1) 教室事業

ア はじめの工作教室

小学校1・2年生の児童を対象とした入門編の工作教室です。工作の基本を重視し、色を塗る・はさみを使うといったカリキュラムで、作る楽しさや工作物を完成させる面白さを経験できる工作教室です。

実施回数	参加人数
8回	272人



イ 小学生工作教室

小学生を対象とした工作教室です。「動くもの」をテーマにゴムや電池のほか、磁石やペットボトル・牛乳パックといった身近な素材も使用し工作します。

実施回数	参加人数
18回	784人



ウ ちびっこ教室

主に日・祝日に開催している、幼児から小学校低学年の児童を対象とした工作教室です。紙コップや牛乳パックなど、身近な材料を利用した簡単な工作を作ります。事前の申し込み不要、材料費50円で休みの日に気軽に工作体験ができるようにしています。また生涯学習の一環として、開館以来、指導についてはボランティアが行っています。

実施回数	参加人数
59回	12,904人



エ 大人の工作教室

大人を対象とした工作教室で、主に木材を使用して、おもちゃや収納グッズなどを作ります。一部の回では託児サービスを実施しており、特に子育て世代から好評を博しています。

実施回数	参加人数
4回	46人



オ 乗り物テクノ教室

小学校5・6年生から中学生を対象として、大学の研究者や企業の技術者などの専門家を講師として招き、電子回路やロボットなど、より高度なテーマを工作や実習を通して学ぶ教室です。

実施回数	参加人数
3回	45人



カ おりがみ工作教室

繁忙期の午前中など、気軽におりがみなどを体験してもらえる教室を無料で実施しました。多くの方に工作の魅力や楽しみを体験していただきました。

実施回数	参加人数
8回	938人



キ サイエンス工作教室

科学実験と組み合わせて乗り物の仕組みや原理などを、工作を通して学ぶ教室を開催しました。

実施回数	参加人数
10回	307人



(2) 教室以外の事業

ア 乗り物セミナー

乗り物や交通をテーマに外部から講師を招聘し、アストラムラインや交通安全、バスの乗り方教室などの体験や講演を行いました。

実施回数	参加人数
3回	90人



イ サイエンスショー

当館のサイエンスショーでは、乗り物の動く仕組みや原理、それらにまつわる物理法則などの解説を中心に、科学を身近なものと感じてもらえるような、楽しい実験を行っています。

実施回数	参加人数
45回	2,361人



ウ ビークルシアター

主に新幹線やはたらく車など、乗り物や交通に関するこども向けのDVDを中心に上映しました。

実施回数	参加人数
97回	4,205人



エ ビークルお楽しみステージ

消防音楽隊の演奏会などこども向けの音楽会や人形劇、地元ヒーローショーなどを企画・実施しました。

実施回数	参加人数
10回	1,778人



オ あそびのひろば ビークルランド

幼児を対象とした乗り物のおもちゃで自由に遊べる広場です。みんな仲良く、楽しく遊べるように、ボランティアによって運営されています。

実施回数	参加人数
18回	2,880人



カ みんなであそぼう！ビークルパーク

工作作品を大型化したものや、簡単なゲームなどを通して、楽しみながら「作ること」に対して興味・関心を高める催事を開催しました。

実施回数	参加人数
6回	5,062人



キ 外部連携事業

地元企業や大学、業界団体等と連携し、ビーズクラフト教室や自動車の安全性向上に関するワークショップ、最先端のロボット技術を紹介する実演などを実施しました。

実施回数	参加人数
19回	1,029人



[連携先と内容]

- 1) マツダ株式会社＝プログラミング教室
- 2) 九州工業大学＝最先端ロボットショー、
- 3) トーヨービーズ株式会社＝ビーズ教室
- 4) 鋳物工業会中四国支部＝こども鋳物教室

ク 平日学校団体受け入れ事業

遠足や校外学習などで来館した学校団体を対象に、工作教室やサイエンスショー、アストラムラインの車両基地見学などを実施しました。

メニュー	学校数	参加人数
車両基地見学	52校	3,694人
工作教室	2校	39人
サイエンスショー	5校	253人
被爆電車見学	5校	238人



ケ 職場体験学習受入

中学校におけるキャリア・スタート事業の実施にともない、安佐南区の中学校を中心に職場体験学習を受け入れました。

受入学校数	人数
3校	15人



コ 出前事業

乗り物・交通に興味関心を持ってもらい、館の利用促進を図るために、学校や公共施設において、工作教室やサイエンスショー、講演会などを実施しました。

区分	回数	参加人数
学校	2回	252人
公共施設	2回	52人
一般団体	1回	60人



サ ライブラリー運営

乗り物や交通に関する書籍や雑誌を、手に取って自由に見たり読んだりすることができます。また、ビデオブースにおいては、子ども向けに用意した交通や乗り物のビデオを視聴することができます。

ビデオブース

貸出件数	利用人数
3,025件	6,904人



シ ボランティア育成事業

生涯学習の一環として、開館以来多くの方にボランティアとして活動していただいています。現在は「ちびっこ教室」、「あそびのひろば ビークルランド」、「大人の工作教室 託児」の3部門で活躍していただいております、一部の方は地域のボランティアとしても活躍しています。

ボランティア研修会回数	参加人数
2回	20人



(3) 特別企画など

ア) まつりなど

例年、1月の成人の日を含む3連休と3月の開館記念日前後の土休日をそれぞれ「ウインターフェスティバル」「春まつり」と銘打ち、行事等を集中的に開催し多くの方にお楽しみいただいています。また、鉄道記念日にちなんで「第2回アストラムラインまつり」を広島高速交通㈱と共催し、工作教室などの行事に加え、縁日や飲食販売などを実施し、好評を博しました。

行事名	実施日	期間中の入館者数
i) 第2回アストラムラインまつり	10/14(日)	5,165人
ii) ウインターフェスティバル	1/12(土)・13(日)	5,270人
iii) 春まつり	3/21・23・24(日)	9,435人

i) 第2回アストラムラインまつり

〔主な事業〕

- ・車両基地見学会
- ・アストラムライン新型車両紹介など



ii) ウインターフェスティバル 2019

〔主な事業〕

- ・マツダ RX500・コスモスポーツ乗車体験
- ・南極教室
- ・安芸戦士メープルカイザーショーなど



ii) 春まつり

〔主な事業〕

- ・ミニ建機試乗体験
- ・九州工業大学最先端ロボットショー
- ・ビークルお楽しみステージ「楽しい人形劇」など



イ) アstromライン車両基地見学会(一般向け)

普段立ち入ることの出来ないアstromラインの車両基地を、一般の方に見学していただく企画です。

実施回数	参加人数
4回	211人

